

目黒区一般廃棄物処理基本計画改定に向けた
基礎調査報告書
(速報版)

令和4年8月

目 黒 区

目次

第1章 家庭ごみ組成分析調査.....	1
1 調査概要	1
2 組成割合	4
3 その他調査結果	14
第2章 家庭ごみ計量調査.....	19
1 調査概要	19
2 調査結果	20
第3章 事業系燃やすごみ組成分析調査.....	23
1 調査概要	23
2 組成割合	26
3 事業系有料ごみ処理券の貼付状況	30

※割合（％）の数値は四捨五入しているため、合計欄の数値と内訳を足し上げた数値が一致しない場合がある。

第1章 家庭ごみ組成分析調査

1 調査概要

(1) 調査目的

区内の家庭から排出されたごみとそこに混入している資源の状況を住居形態別に調査することによって、一般廃棄物処理基本計画の改定に向け、排出指導のあり方や、新たなごみ減量施策に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 調査対象地区及び日程

調査対象とした住居形態は、戸建住宅、集合住宅（管理人有）、集合住宅（管理人無）、単身向け集合住宅、住商混在の5つとして、それぞれの区分から2地区ずつ合計10地区を選定した。その際、平成26年度調査とできるだけ比較できるように配慮した。

調査期間は、令和4年5月30日（月）から6月11日（土）までのうち、6月5日（日）を除く12日間とした。

表 1-1-1 調査対象地区及び調査日程

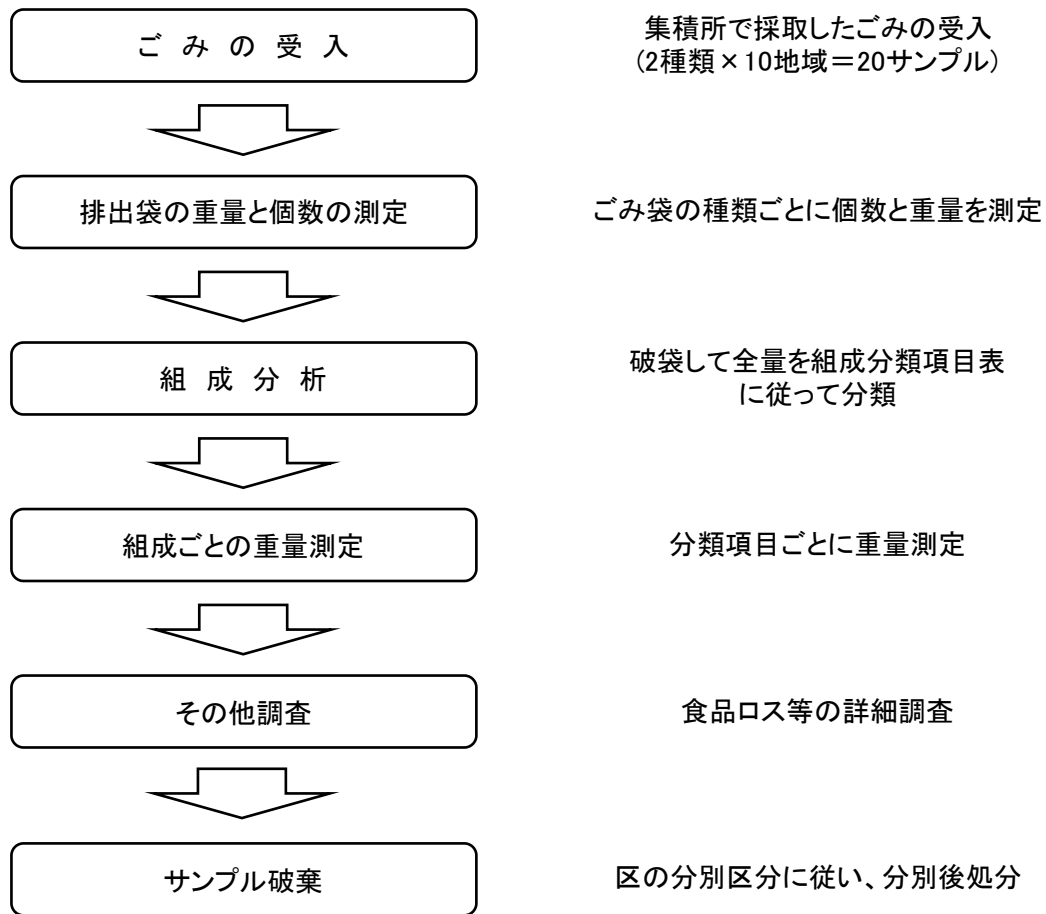
対象地区	地域特性	燃やすごみ	燃やさないごみ
①目黒本町1丁目	戸建住宅	6月11日（土）	6月2日（木）
②八雲4丁目		5月30日（月）	6月3日（金）
③柿の木坂3丁目	集合住宅 （管理人有）	6月6日（月）	6月3日（金）
④大橋2丁目		5月31日（火）	6月1日（水）
⑤目黒本町4丁目	集合住宅 （管理人無）	6月8日（水）	6月2日（木）
⑥青葉台3丁目		6月10日（金）	6月4日（土）
⑦八雲1丁目	単身向け 集合住宅	6月9日（木）	6月3日（金）
⑧東山3丁目		6月3日（金）	6月1日（水）
⑨上目黒1丁目	住商混在	6月7日（火）	6月4日（土）
⑩中根1丁目		6月1日（水）	6月6日（月）

(3) 調査方法

調査地区から、1か所あたり燃やすごみ200kg、燃やさないごみ50kgを目安に回収した。事業系有料ごみ処理券が貼付されているもの及び明らかに事業系と判断できるごみについては、分析の対象から除いた。回収したごみは、排出袋の種類ごとに重量と個数を計測した後、組成分類項目に従い63種に分別した。分析したサンプル量は、燃やすごみが2,031.06kg、燃やさないごみが554.35kgである。

食品ロスについては、「家庭系食品ロスの発生状況の把握のためのごみ袋開袋調査手順書（令和元年5月環境省）」に準じて分析する。

図 1-1-1 組成分析調査方法



(4) 分析場所

目黒区清掃事業所

(5) 組成分類項目

本調査の組成分類項目を表 1-1-2 に示す。

ごみの外袋については、袋回収を実施しているために必然的に使用されるものであることから「外袋」として区分した。

(6) 結果分析

調査結果を基に組成割合、適正分別割合を算定した。

表 1-1-2 家庭ごみの組成分類項目

	大分類	中分類	小分類	具体的な品目	
1	資源(古紙)	新聞・折込広告	新聞	新聞、新聞に入る広告	
2			雑誌・本	パンフレット、カタログ(4P以上)、ノート	
3			段ボール	断面が段々になっている	
4			容器包装紙類	紙箱	リサイクル可能なもの
5				包装紙	リサイクル可能なもの
6				紙袋	リサイクル可能なもの
7			その他紙類(リサイクル可)	コピー用紙、パンフレット・チラシ、ポスター・カレンダー、封筒	
8	資源(びん・缶・PET)	びん	生きびん(リターナブル)	一升びん、ビールびん(大中小、スタイニーボトル)	
9			雑びん	飲食のみ	
10		缶	飲食用スチール缶	ペットフード、フタを含む	
11			飲食用アルミ缶	//	
12	ペットボトル	「PET」表示あり、飲料・酒・醤油			
13	資源(プラスチック)	レジ袋	レジ袋(中身あり)	ごみの小袋として利用	
14			レジ袋(中身なし)	利用されずに出されているレジ袋、未使用	
15		発泡トレイ	発泡トレイ(白)		
16			発泡トレイ(柄)	白以外、色・柄つき	
17		その他プラスチック製容器包装	ペットボトルのふた		
18			その他ボトル	PET以外、調味料、シャンプー、洗剤	
19			発泡スチロール		
20			食品用透明プラスチック容器	コロッケ・イチゴなどのパック、透明な惣菜のパック、弁当ガラの透明な上ふた	
22		その他プラスチック容器(硬いもの)	食品の不透明な容器、弁当ガラ、レトルト食品、食品以外のプラスチックケース		
21		その他プラスチック包装(柔らかいもの)	袋、フィルム・ラップ		
23	資源(拠点回収)	紙パック	アルミの貼っていないもの		
24			牛乳・ジュースの、山型紙パック(200ml以上)		
25			乾電池	乾電池	
26	可燃物	生ごみ	直接廃棄		
27			食べ残し		
28			飲み残し		
29			調理くず等(物理的可食)	キャベツやレタスの外葉、野菜の皮(タマネギ除く)	
30			調理くず等(非可食)	骨、貝、果物の皮(リンゴを除く)	
31			紙類(リサイクル不可)	ティッシュ、防水加工された紙、レシートなど感熱紙、圧着はがき、アルミコーティングされたもの、ピザや洗剤・線香の箱など汚れや臭いのついた紙、シュレッダー屑、写真、カーボン紙、紙製卵パック、果物などの紙製緩衝材、カップ麺やヨーグルトの容器	
32		繊維	繊維(リサイクル可)	タオル、シーツ、古着	
33			繊維(リサイクル不可)	下着、靴下、ストッキング	
34		紙おむつ			
35		木・草類	割箸・竹串、庭木・草、生花、コルク、麻ひも、木製玩具		
36		製品プラスチック	製品プラスチック(硬いもの)	歯ブラシ、おもちゃ、バケツ、ビデオテープ、CDケース、カトラリー、衣類用カバー、ハンガー	
37			製品プラスチック(柔らかいもの)	食品保存袋、フリーザーバッグ、市販の袋	
38			製品プラスチック(複合品)	プラスチックの比率が50%以上	
39			製品プラスチック(電池内蔵)	おもちゃ、プラモデル、カーラーで、ほとんどがプラスチックで電池内蔵のもの	
40	その他可燃物	プラスチック製チューブ	マヨネーズ、歯磨き		
41		ゴム・皮革類			
42		その他可燃	タバコ吸殻、湿布、油を固めたもの、掃除機のごみ、猫砂(紙を使用したもの)、カーペット、ぬいぐるみ、ガーゼ、包帯、衛生用品		
43	不燃物	金属	飲食以外の缶・金属容器	飲食以外、塗料・オイル缶、一斗缶より大きい缶	
44			針金ハンガー		
45			なべ・フライパン・やかんなど		
46			その他金属	アルミ箔、アルミホイル	
47			スプレー缶等中身無し	ふって音がしないもの	
48	小型家電製品(9品目以外)				
49	陶磁器				
50	その他不燃物	ライター(着火可能性なし)	着火しないもの		
51		その他不燃	かさ・ポットなど複合品、使い捨てカイロ、乾燥剤、薬、猫砂(土を使用したもの)、化粧品・薬のびん、コップ、板ガラス、花瓶、植木鉢、電球		
52	危険物・水銀含有物	水銀体温計	水銀体温計		
53			蛍光管		
54			充電電池	充電式筒型電池、モバイルバッテリー	
55			ボタン電池		
56			スプレー缶等中身有り	ふって音がするもの	
57			ライター(着火可能性あり)	着火するもの、中身が残っているもの	
58			医療系廃棄物	注射器など針のついたもの	
59	収集不適物	園芸土			
60		土砂・灰・石			
61	外袋	プラスチック袋			
62		レジ袋			
63		その他	紙袋		

表 1-2-1 燃やすごみの組成分析結果(詳細)

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合	
資源 (古紙)	新聞・折込広告		14.46	0.7%	
		雑誌・本	47.28	2.3%	
		段ボール	25.38	1.2%	
	容器包装紙類	紙箱	65.69	3.2%	
		包装紙	5.72	0.3%	
	その他紙類	紙袋	19.18	0.9%	
		その他紙類	131.87	6.5%	
資源 (びん・缶・PET)	びん	生きびん (リターナブル)	0.00	0.0%	
		雑びん	2.03	0.1%	
	缶	飲食用スチール缶	0.52	0.0%	
		飲食用アルミ缶	0.40	0.0%	
		ペットボトル	7.45	0.4%	
資源 (プラスチック)	レジ袋	レジ袋 (中身あり)	18.41	0.9%	
		レジ袋 (中身なし)	2.96	0.1%	
	発泡トレイ	発泡トレイ (白)	1.63	0.1%	
		発泡トレイ (柄)	2.17	0.1%	
	その他プラスチック製容器包装	ペットボトルのふた	2.43	0.1%	
		その他ボトル	22.57	1.1%	
		発泡スチロール	1.25	0.1%	
		食品用透明プラ容器	31.62	1.6%	
		その他プラスチック容器 (硬いもの)	53.98	2.7%	
		その他プラスチック包装 (柔らかいもの)	105.94	5.2%	
資源 (拠点回収)		紙パック	12.62	0.6%	
		乾電池	0.36	0.0%	
		小型家電製品 (拠点回収対象9品目)	1.08	0.1%	
可燃物	生ごみ	直接廃棄	137.98	6.8%	
		食べ残し	101.76	5.0%	
		飲み残し	3.73	0.2%	
		調理くず等 (物理的可食)	88.75	4.4%	
		調理くず等 (非可食)	191.04	9.4%	
	紙類 (リサイクル不可)			291.21	14.3%
		繊維 (リサイクル可)	106.01	5.2%	
	繊維 (リサイクル不可)			19.68	1.0%
		紙おむつ	63.90	3.1%	
	木・草類		62.21	3.1%	
	製品プラスチック	製品プラスチック (硬いもの)		37.15	1.8%
			製品プラスチック (柔らかいもの)	45.24	2.2%
			製品プラスチック (複合品)	24.36	1.2%
			製品プラスチック (電池内蔵)	0.00	0.0%
	その他可燃物	プラスチック製チューブ	4.36	0.2%	
ゴム・皮革類		26.18	1.3%		
		その他可燃	192.45	9.5%	
不燃物	金属	飲食以外の缶・金属容器	1.01	0.0%	
		針金ハンガー	0.09	0.0%	
		なべ・フライパン・やかんなど	0.87	0.0%	
		その他金属	5.47	0.3%	
			スプレー缶等中身無し	0.42	0.0%
	小型家電製品 (9品目以外)	3.75	0.2%		
	陶磁器	1.80	0.1%		
その他不燃物	ライター (着火可能性なし)	0.36	0.0%		
	その他不燃	6.91	0.3%		

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合
危険物・水銀含有物		水銀体温計	0.00	0.0%
		蛍光管	0.00	0.0%
		充電電池	0.00	0.0%
		ボタン電池	0.01	0.0%
		スプレー缶等中身有り	0.10	0.0%
		ライター (着火可能性あり)	0.14	0.0%
収集不適物		医療系廃棄物	0.14	0.0%
		園芸土	13.25	0.7%
		土砂・灰・石	1.10	0.1%
外袋		プラスチック袋	16.90	0.8%
		レジ袋	4.20	0.2%
		紙袋	1.53	0.1%
合計			2,031.06	100.0%

大分類	中分類	重量 (kg)	割合
資源 (古紙)	新聞・折込広告	14.46	0.7%
	雑誌・本	47.28	2.3%
	段ボール	25.38	1.2%
	容器包装紙類	90.59	4.5%
	その他紙類	131.87	6.5%
	資源 (びん・缶・PET)	びん	2.03
	缶	0.92	0.0%
	ペットボトル	7.45	0.4%
資源 (プラスチック)	レジ袋	21.37	1.1%
	発泡トレイ	3.80	0.2%
	その他プラスチック製容器包装	217.79	10.7%
資源 (拠点回収)		14.06	0.7%
可燃物	厨芥	523.26	25.8%
	紙類	291.21	14.3%
	繊維	125.69	6.2%
	紙おむつ	63.90	3.1%
	木・草類	62.21	3.1%
	製品プラスチック	106.75	5.3%
	その他可燃物	222.99	11.0%
不燃物	金属	7.86	0.4%
	小型家電製品 (9品目以外)	3.75	0.2%
	陶磁器	1.80	0.1%
	その他不燃物	7.27	0.4%
危険物・水銀含有物		0.25	0.0%
収集不適物		14.49	0.7%
外袋		22.63	1.1%

大分類	重量 (kg)	割合
資源 (古紙)	309.58	15.2%
資源 (びん・缶・PET)	10.40	0.5%
資源 (プラスチック)	242.96	12.0%
資源 (拠点回収)	14.06	0.7%
資源合計	577.00	28.4%
可燃物	1,396.01	68.7%
不燃物	20.68	1.0%
危険物・水銀含有物	0.25	0.0%
収集不適物	14.49	0.7%
外袋	22.63	1.1%

分別が適正なもの	1,418.64	69.8%
分別が不適正なもの	612.42	30.2%

② 燃やさないごみ

燃やさないごみの組成を図 1-2-2 及び表 1-2-2 に示す。

大分類では、資源(びん・缶・PET)が 7.1%、資源(拠点回収)が 3.0%、資源(プラスチック)が 1.3%、資源(古紙)が 0.2%の順で、資源が合計 11.6%である。その他、不燃物が 71.8%、可燃物が 13.7%、収集不適物が 1.1%、外袋が 1.0%の順である。

分別が適正なものは 72.8%、分別が不適正なものは 27.2%である。

不燃物の中分類では、金属が最も多く 22.8%、次いで、その他不燃物が 20.5%、小型家電製品(9品目以外)が 15.1%、陶磁器が 13.4%の順である。

可燃物の中分類では、製品プラスチックが最も多く 10.3%である。

不燃系資源の中分類では、びん類が最も多く 5.0%である。

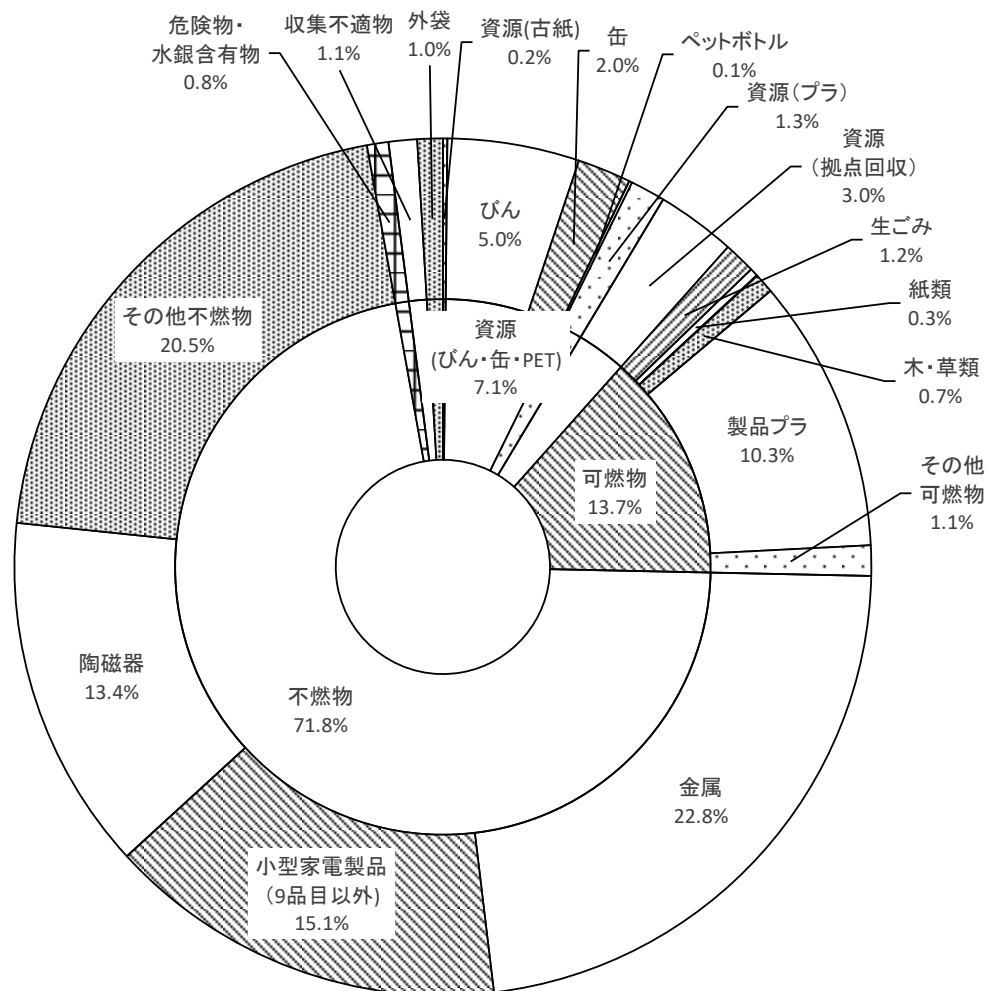


図 1-2-2 燃やさないごみの組成分析結果

表 1-2-2 燃やさないごみの組成分析結果(詳細)

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合
資源 (古紙)	新聞・折込広告		0.06	0.0%
		雑誌・本	0.00	0.0%
		段ボール	0.03	0.0%
	容器包装紙類	紙箱	0.35	0.1%
		包装紙	0.02	0.0%
		紙袋	0.17	0.0%
その他紙類		0.29	0.1%	
資源 (びん・缶・PET)	びん	生きびん (リターナブル)	0.77	0.1%
		雑びん	26.83	4.8%
	缶	食用スチール缶	7.34	1.3%
		食用アルミ缶	3.85	0.7%
	ペットボトル		0.65	0.1%
資源 (プラスチック)	レジ袋	レジ袋 (中身あり)	0.92	0.2%
		レジ袋 (中身なし)	0.14	0.0%
	発泡トレイ	発泡トレイ (白)	0.01	0.0%
		発泡トレイ (柄)	0.03	0.0%
	その他プラスチック製容器包装	ペットボトルのふた	0.07	0.0%
		その他ボトル	3.53	0.6%
		発泡スチロール	0.00	0.0%
		食品用透明プラ容器	0.04	0.0%
		その他プラスチック容器 (硬いもの)	1.50	0.3%
その他プラスチック包装 (柔らかいもの)		1.05	0.2%	
資源 (拠点回収)	紙バック		0.03	0.0%
	乾電池		10.67	1.9%
	小型家電製品 (拠点回収対象9品目)		5.88	1.1%
可燃物	生ごみ	直接廃棄	5.65	1.0%
		食べ残し	0.03	0.0%
		飲み残し	0.00	0.0%
		調理くず等 (物理的可食)	0.00	0.0%
		調理くず等 (非可食)	0.94	0.2%
	紙類 (リサイクル不可)		1.70	0.3%
		繊維 (リサイクル可)	0.00	0.0%
	繊維 (リサイクル不可)		0.14	0.0%
		紙おむつ		0.00
	木・草類		4.13	0.7%
	製品プラスチック	製品プラスチック (硬いもの)	35.66	6.4%
		製品プラスチック (柔らかいもの)	1.04	0.2%
		製品プラスチック (複合品)	20.24	3.7%
		製品プラスチック (電池内蔵)	0.36	0.1%
	その他可燃物	プラスチック製チューブ	0.28	0.1%
ゴム・皮革類		4.24	0.8%	
その他可燃		1.81	0.3%	
不燃物	金属	飲食以外の缶・金属容器	4.95	0.9%
		針金ハンガー	2.01	0.4%
		なべ・フライパン・やかんなど	32.28	5.8%
		その他金属	74.65	13.5%
	スプレー缶等中身無し	12.29	2.2%	
	小型家電製品 (9品目以外)	83.74	15.1%	
	陶磁器	74.50	13.4%	
その他不燃物	ライター (着火可能性なし)	0.67	0.1%	
	その他不燃	113.08	20.4%	

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合
危険物・水銀含有物		水銀体温計	0.00	0.0%
		蛍光管	1.02	0.2%
		充電電池	0.00	0.0%
		ボタン電池	0.04	0.0%
		スプレー缶等中身有り	3.02	0.5%
		ライター (着火可能性あり)	0.39	0.1%
収集不適物		医療系廃棄物	0.00	0.0%
		園芸土	5.48	1.0%
		土砂・灰・石	0.48	0.1%
外袋		プラスチック袋	1.44	0.3%
		レジ袋	2.03	0.4%
		紙袋	1.83	0.3%
合計			554.35	100.0%

大分類	中分類	重量 (kg)	割合
資源 (古紙)	新聞・折込広告	0.06	0.0%
	雑誌・本	0.00	0.0%
	段ボール	0.03	0.0%
	容器包装紙類	0.54	0.1%
	その他紙類	0.29	0.1%
	資源 (びん・缶・PET)	びん	27.60
缶	11.19	2.0%	
ペットボトル	0.65	0.1%	
資源 (プラスチック)	レジ袋	1.06	0.2%
	発泡トレイ	0.04	0.0%
	その他プラスチック製容器包装	6.19	1.1%
資源 (拠点回収)		16.58	3.0%
可燃物	厨芥	6.62	1.2%
	紙類	1.70	0.3%
	繊維	0.14	0.0%
	紙おむつ	0.00	0.0%
	木・草類	4.13	0.7%
	製品プラスチック	57.30	10.3%
その他可燃物	6.33	1.1%	
不燃物	金属	126.18	22.8%
	小型家電製品 (9品目以外)	83.74	15.1%
	陶磁器	74.50	13.4%
	その他不燃物	113.75	20.5%
危険物・水銀含有物	4.47	0.8%	
収集不適物	5.96	1.1%	
外袋	5.30	1.0%	

大分類	重量 (kg)	割合
資源 (古紙)	0.92	0.2%
資源 (びん・缶・PET)	39.44	7.1%
資源 (プラスチック)	7.29	1.3%
資源 (拠点回収)	16.58	3.0%
資源合計	64.23	11.6%
可燃物	76.22	13.7%
不燃物	398.17	71.8%
危険物・水銀含有物	4.47	0.8%
収集不適物	5.96	1.1%
外袋	5.30	1.0%

分別が適正なもの	403.47	72.8%
分別が不適正なもの	150.88	27.2%

(2) 住居形態別

① 燃やすごみ

燃やすごみの住居形態別の組成を表 1-2-3 及び図 1-2-3 に示す。

分別が適正なものの割合は、戸建住宅が最も高く 76.9%、次いで、単身向け集合住宅が 71.4%、集合住宅（管理人無）が 68.7%、住商混在が 66.5%、集合住宅（管理人有）が 65.7%の順である。

表 1-2-3 燃やすごみの住居形態別の組成分析結果(資源中分類)

		戸建住宅	集合住宅 (管理人有)	集合住宅 (管理人無)	単身向け集 合住宅	住商混在	合計
資源	新聞・折込広告	1.7%	0.6%	0.7%	0.3%	0.3%	0.7%
	雑誌・本	1.3%	2.1%	4.4%	1.8%	2.0%	2.3%
	段ボール	0.8%	1.5%	1.1%	1.1%	1.7%	1.2%
	容器包装紙類	3.4%	5.9%	4.1%	4.1%	4.9%	4.5%
	その他紙類	5.9%	9.0%	6.9%	4.8%	5.8%	6.5%
	びん	0.0%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%
	缶	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%
	ペットボトル	0.1%	0.2%	0.2%	0.5%	0.7%	0.4%
	レジ袋	0.8%	1.2%	0.9%	1.2%	1.1%	1.1%
	発泡トレイ	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%
	その他プラスチック製容器包装	8.0%	11.8%	9.5%	12.6%	12.0%	10.7%
	資源☒拠点回収)	0.5%	0.5%	0.8%	0.6%	1.0%	0.7%
	資源合計	22.6%	33.2%	29.0%	27.5%	29.9%	28.4%
可燃物		75.9%	64.6%	67.5%	70.3%	65.3%	68.7%
不燃物		0.4%	0.8%	2.0%	0.9%	0.9%	1.0%
危険物・銀含有物		0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
収集不適物		0.1%	0.3%	0.3%	0.2%	2.7%	0.7%
外袋		1.0%	1.1%	1.2%	1.1%	1.2%	1.1%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

分別が適正なもの	76.9%	65.7%	68.7%	71.4%	66.5%	69.8%
分別が不適正なもの	23.1%	34.3%	31.3%	28.6%	33.5%	30.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

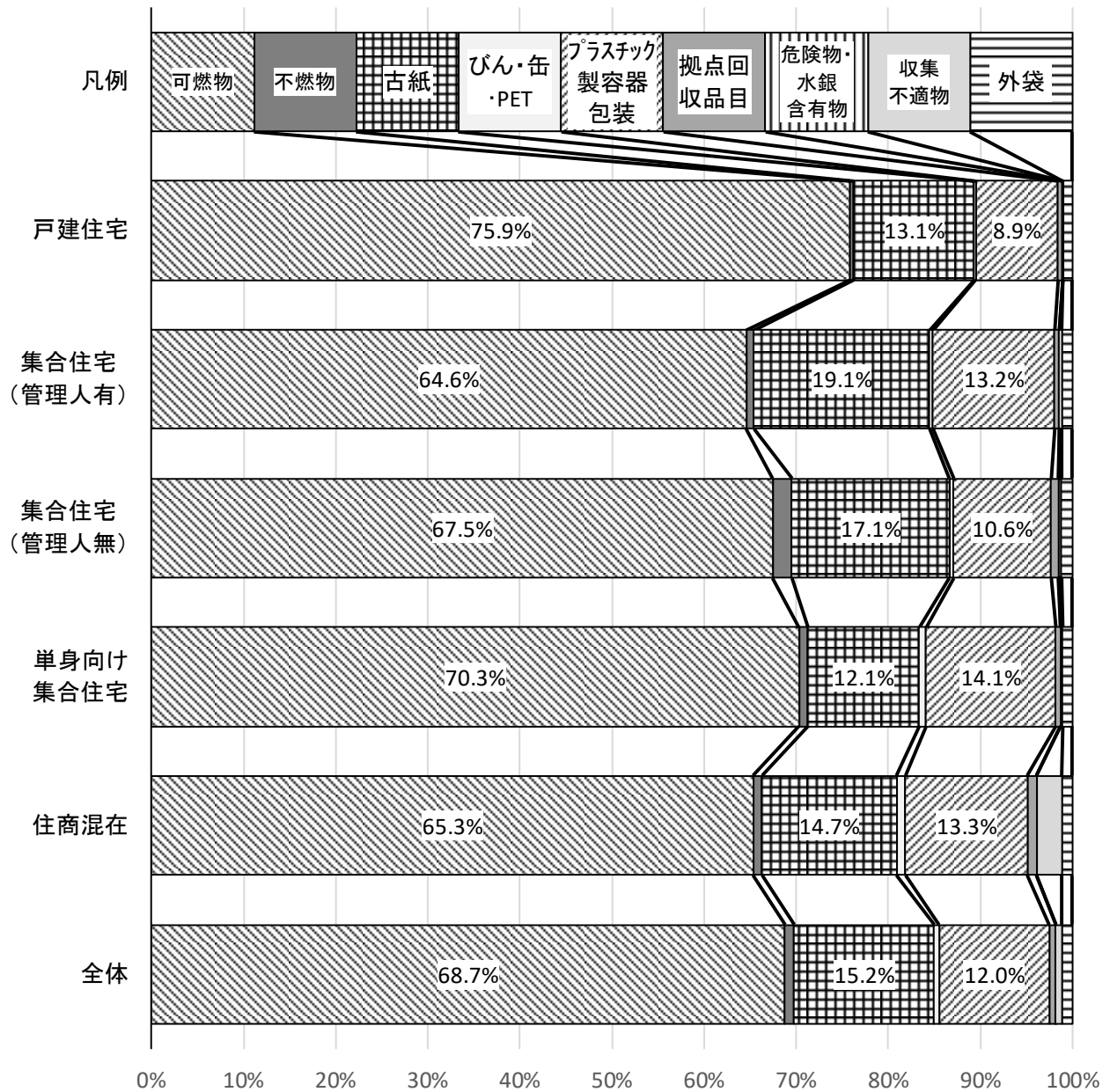


図 1-2-3 燃やすごみの住居形態別の組成分析結果(大分類)

② 燃やさないごみ

燃やさないごみの住居形態別の組成を表 1-2-4 及び図 1-2-4 に示す。

分別が適正なものの割合は、単身向け集合住宅が最も高く 79.2%、次いで、集合住宅（管理人有）が 78.0%、住商混在が 72.8%、戸建住宅が 70.6%、集合住宅（管理人無）が 62.6%の順である。

表 1-2-4 燃やさないごみの住居形態別の組成分析結果(資源中分類)

		戸建住宅	集合住宅 (管理人有)	集合住宅 (管理人無)	単身向け集 合住宅	住商混在	合計
資源	新聞・折込広告	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雑誌・本	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	段ボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	容器包装紙類	0.2%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
	その他紙類	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
	びん	6.0%	4.5%	4.1%	4.1%	6.6%	5.0%
	缶	1.6%	1.1%	1.6%	1.6%	4.6%	2.0%
	ペットボトル	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.2%	0.1%
	レジ袋	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.5%	0.2%
	発泡トレイ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他プラスチック製容器包装	1.8%	0.8%	1.2%	0.9%	1.0%	1.1%
	資源☒拠点回収)	1.9%	0.7%	1.8%	5.7%	4.7%	3.0%
	資源合計	11.6%	7.5%	9.4%	12.6%	17.7%	11.6%
	可燃物	14.8%	14.1%	27.5%	3.9%	8.8%	13.7%
不燃物	69.5%	77.1%	61.7%	78.5%	71.3%	71.8%	
危険物・凶銀含有物	2.0%	0.4%	0.6%	0.4%	0.7%	0.8%	
収集不適物	0.9%	0.0%	0.0%	3.9%	0.0%	1.1%	
外袋	1.1%	0.9%	0.8%	0.7%	1.5%	1.0%	
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
分別が適正なもの		70.6%	78.0%	62.6%	79.2%	72.8%	72.8%
分別が不適正なもの		29.4%	22.0%	37.4%	20.8%	27.2%	27.2%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

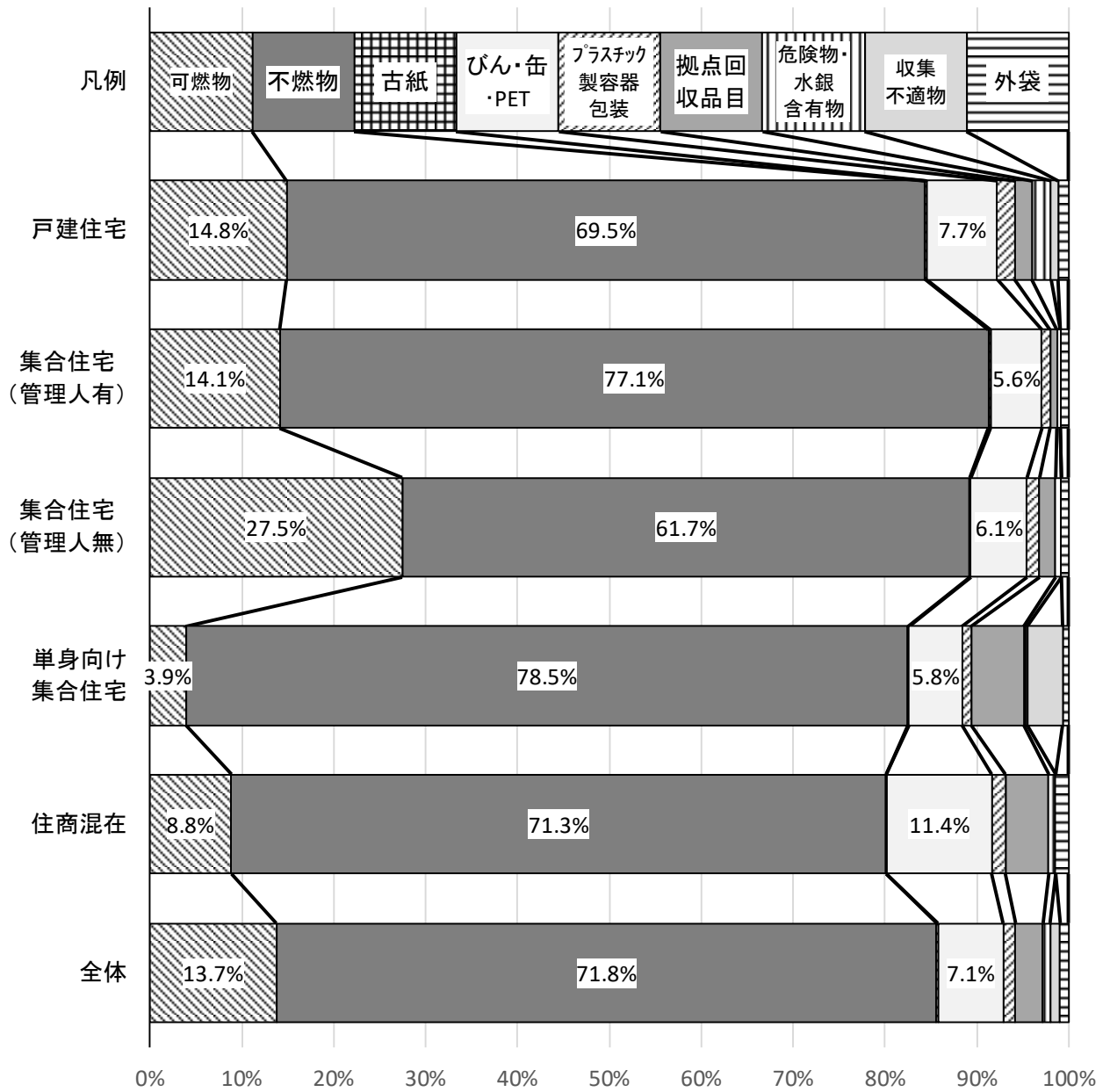


図 1-2-4 燃やさないごみの住居形態別の組成分析結果(大分類)

(3) 前回調査との比較

① 燃やすごみ

燃やすごみの前回調査(平成26年度)との比較を表1-2-5に示す。

分別が適正なものの割合は、前回調査の72.7%から今回調査の69.8%へと2.9ポイント減少している。

資源の割合は、前回調査の25.7%から今回調査の28.4%へと2.7ポイント増加しており、特に、プラスチック製容器包装の割合は、前回調査の8.4%から今回調査の12.0%へと3.6ポイント増加している。

表1-2-5 燃やすごみの過去の調査結果との比較

		令和4年度 調査	平成26年度 調査
資源	古紙	15.2%	16.7%
	びん・缶・ペットボトル	0.5%	0.5%
	プラスチック製容器包装	12.0%	8.4%
	拠点回収	0.7%	0.1%
	資源合計	28.4%	25.7%
可燃物		68.7%	72.0%
不燃物		1.0%	0.6%
有害・危険物		0.0%	0.0%
収集不適物		0.7%	1.1%
外袋		1.1%	0.7%
合計		100.0%	100.0%
分別が適正なもの		69.8%	72.7%
分別が不適正なもの		30.2%	27.3%
合計		100.0%	100.0%

② 燃やさないごみ

燃やさないごみの前回調査との比較を表 1-2-6 に示す。

分別が適正なものの割合は、前回調査の 71.2%から今回調査の 72.8%へと 1.6 ポイント増加している。

資源の割合は、前回調査の 14.6%から今回調査の 11.6%へと 3.0 ポイント減少しており、特に、びん・缶・ペットボトルの割合は、前回調査の 9.0%から今回調査の 7.1%へと 1.9 ポイント減少している。

表 1-2-6 燃やさないごみの過去の調査結果との比較

		令和4年度 調査	平成26年度 調査
資源	古紙	0.2%	0.6%
	びん・缶・ペットボトル	7.1%	9.0%
	プラスチック製容器包装	1.3%	1.3%
	拠点回収	3.0%	3.7%
	資源合計	11.6%	14.6%
可燃物		13.7%	13.3%
不燃物		71.8%	70.5%
有害・危険物		0.8%	0.7%
収集不適物		1.1%	0.2%
外袋		1.0%	0.7%
合計		100.0%	100.0%
分別が適正なもの		72.8%	71.2%
分別が不適正なもの		27.2%	28.8%
合計		100.0%	100.0%

3 その他調査結果

(1) 燃やすごみの食品ロス

① 燃やすごみ及び生ごみに占める割合

燃やすごみ及び生ごみに占める直接廃棄、食べ残し、調理くず割合を表 1-3-1 及び図 1-3-1 に示す。

燃やすごみに占める割合は、直接廃棄が 6.8%、食べ残し・飲み残しが 5.2% で 12.0% が食品ロスである。

生ごみに占める割合は、直接廃棄が 26.4%、食べ残しが 20.2% で 46.5% が食品ロスである。

表 1-3-1 燃やすごみ及び生ごみに占める割合

		可燃ごみに占める割合		生ごみに占める割合	
		重量 (kg)	割合	重量 (kg)	割合
食品ロス	直接廃棄	137.98	6.8%	137.98	26.4%
	食べ残し・飲み残し	105.49	5.2%	105.49	20.2%
	小計	243.47	12.0%	243.47	46.5%
調理くず		279.79	13.8%	279.79	53.5%
生ごみ小計		523.26	25.8%	523.26	100.0%
生ごみ以外		1,507.80	74.2%		
合計		2,031.06	100.0%		

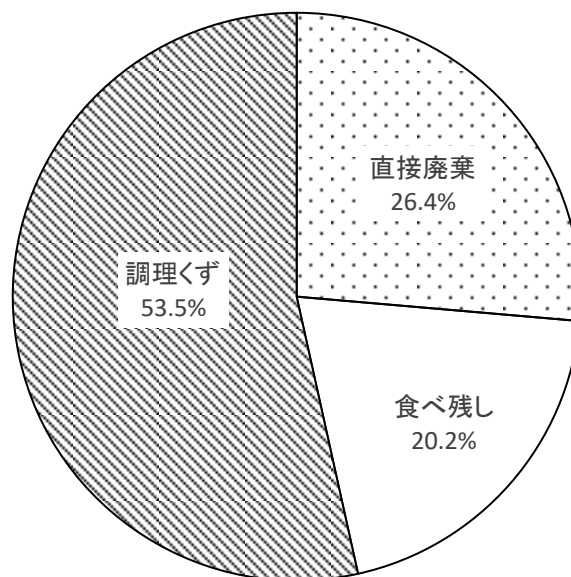


図 1-3-1 生ごみに占める割合

② 直接廃棄の品目別割合

直接廃棄の品目別の割合を図1-3-2及び表1-3-2に示す。

野菜が最も多く27.7%、次いで、果物が9.1%、菓子が8.0%などの順である。

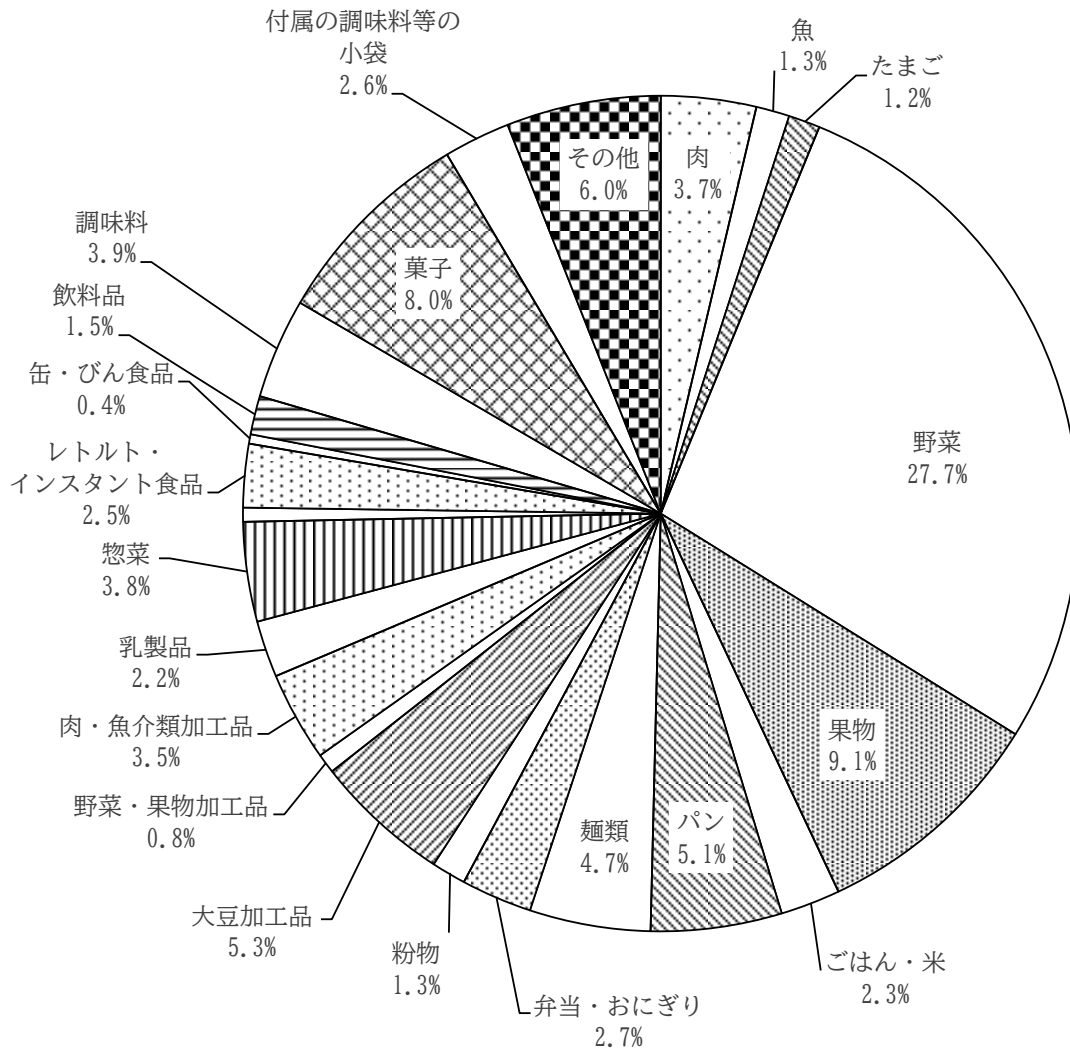


図1-3-2 直接廃棄の品目別割合

表 1-3-2 直接廃棄の品目別の重量と割合

品目		個数	重量	
			重量(kg)	割合
生鮮食品	生鮮食品小計	613	59.332	43.0%
	肉	36	5.078	3.7%
	魚	17	1.788	1.3%
	たまご	23	1.685	1.2%
	野菜	432	38.161	27.7%
	果物	105	12.620	9.1%
主食	主食小計	168	16.645	12.1%
	ごはん・米	23	3.197	2.3%
	パン	117	6.989	5.1%
	麺類	28	6.459	4.7%
その他	その他小計	1092	61.989	44.9%
	弁当・おにぎり	37	3.782	2.7%
	粉物	10	1.844	1.3%
	大豆加工品	65	7.268	5.3%
	野菜・果物加工品	14	1.050	0.8%
	肉・魚介類加工品	65	4.780	3.5%
	乳製品	40	3.027	2.2%
	惣菜	45	5.309	3.8%
	乾物	18	0.753	0.5%
	レトルト・インスタント食品	17	3.381	2.5%
	缶・びん食品	3	0.502	0.4%
	飲料品	10	2.055	1.5%
	調味料	41	5.362	3.9%
	菓子	240	11.083	8.0%
	付属の調味料等の小袋	380	3.554	2.6%
その他	107	8.239	6.0%	
合計		1,873	137.966	100.0%

③ 直接廃棄の消費・賞味期限別割合

直接廃棄の消費・賞味期限別の割合を図 1-3-3 及び表 1-3-3 に示す。消費期限前に廃棄されたものが 0.2%、賞味期限前に廃棄されたものが 12.8%、合わせて 13.1%が期限前に廃棄されている。

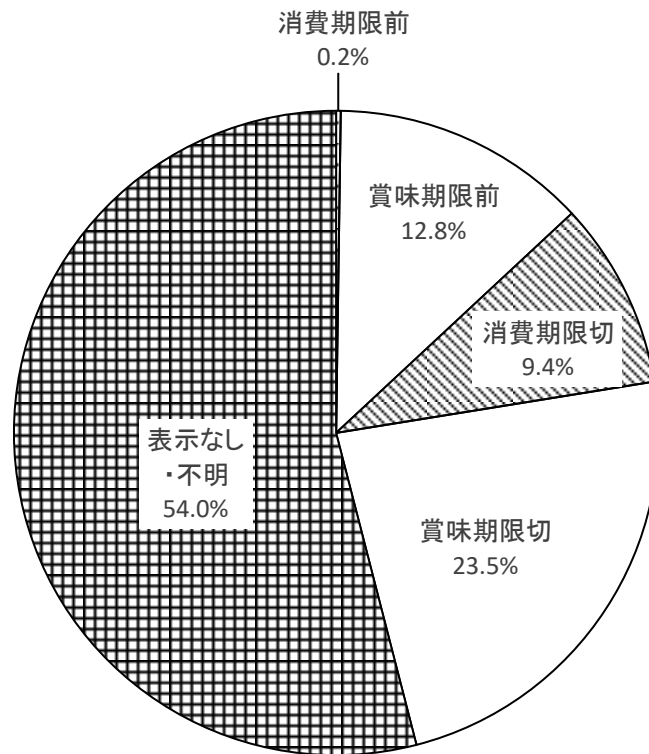


図 1-3-3 直接廃棄の消費・賞味期限別の割合

表 1-3-3 直接廃棄の消費・賞味期限別の重量と割合

		個数	重量	
			重量(kg)	割合
期限前廃棄	期限前廃棄小計	195	17.564	13.1%
	消費期限前	3	0.311	0.2%
	賞味期限前	192	17.253	12.8%
期限切廃棄	期限切廃棄小計	434	44.246	32.9%
	消費期限切	129	12.617	9.4%
	賞味期限切	305	31.629	23.5%
表示なし・不明等		864	72.602	54.0%
合計		1,493	134.412	100.0%

④ 直接廃棄の残存率

直接廃棄の残存率を表 1-3-4 に示す。100%残存が 74.4%、50%以上残存が 11.2%、50%未満残存が 14.4%である。

表 1-3-4 直接廃棄の残存率

	重量(kg)	割合
100%残存	102.650	74.4%
50%以上残存	15.429	11.2%
50%未満残存	19.887	14.4%
合計	137.966	100.0%

第2章 家庭ごみ計量調査

1 調査概要

(1) 調査目的

区内の家庭から排出されたごみの重量を世帯人数、住居形態ごとに分類して調査し、各分類における1人1日あたりのごみ量（以下「排出原単位」という。）を比較することによって、一般廃棄物処理基本計画の改定に向け、排出指導のあり方や新たなごみ減量施策に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 調査対象地区及び日程

住居形態に偏りがないように、戸建住宅から2か所、集合住宅（管理人無）から1か所、単身向け集合住宅から2か所、住商混在から1か所を調査した。

調査日程は令和4年6月20日(月)～25日(土)の6日間とした。

表 2-1-1 調査対象住居形態及び調査日程

対象地区	地域特性	調査日
目黒本町1丁目	戸建住宅	6月25日(土)
八雲4丁目	戸建住宅	6月23日(木)
青葉台3丁目	集合住宅(管理人無)	6月24日(金)
八雲1丁目	単身向け集合住宅	6月20日(月)
東山3丁目	単身向け集合住宅	6月21日(火)
中根1丁目	住商混在	6月22日(水)

(3) 調査方法

燃やすごみの排出原単位を把握するため、調査対象地区の世帯に対して、世帯人数と何日分のごみかを記載するシールを配布した。ごみの排出時間に合わせて調査員を資源・ごみ集積所に配置し、排出されたごみに貼付されたシールの情報を転記し、その場で重量を測定した。

1人世帯の場合は年齢によって排出原単位が異なると考えられるため、30歳未満と30歳以上に分類し、調査を実施した。

各世帯から排出された燃やすごみの重量を世帯人数と日数（何日分のごみか）で除して、世帯ごとの排出原単位を算定した上で、世帯人数別のごみの排出原単位を算定した。

(4) 調査対象世帯数

調査対象世帯数を表 2-1-2 に示す。調査対象世帯数は 685 世帯である。

表 2-1-2 調査対象世帯数

世帯人数	住居形態				合計
	戸建住宅	集合住宅 (管理人無)	単身向け 集合住宅	住商混在	
1人世帯 (30歳未満)	2	4	2	3	11
1人世帯 (30歳以上)	65	37	67	29	198
2人世帯	75	34	71	39	219
3人世帯	57	14	32	23	126
4人以上世帯	49	13	38	31	131
合計	248	102	210	125	685

2 調査結果

(1) 世帯人数別・住居形態別の排出原単位

燃やすごみの世帯人数別・住居形態別の排出原単位を表 2-2-1 及び図 2-2-1 に示す。

世帯人数別では、1人世帯・30歳未満が 271.6 g/人日、1人世帯・30歳以上が 440.7 g/人日、2人世帯が 349.2 g/人日、3人世帯が 339.0 g/人日、4人以上世帯が 287.3 g/人日である。

住居形態別では、戸建住宅が 414.3 g/人日、集合住宅（管理人無）が 305.4 g/人日、単身向け集合住宅が 347.4 g/人日、住商混合が 321.8 g/人日である。

表 2-2-1 住居形態別・世帯人数別の排出原単位

世帯人数	住居形態				全ての住居形態
	戸建住宅	集合住宅 (管理人無)	単身向け集 合住宅	住商混在	
1人世帯 (30歳未満)	405.8	253.8	318.1	174.7	271.6
1人世帯 (30歳以上)	629.5	340.6	364.7	321.1	440.7
2人世帯	363.9	304.9	360.7	338.6	349.2
3人世帯	341.2	337.5	335.8	339.2	339.0
4人以上世帯	291.4	187.4	303.5	302.8	287.3
全ての世帯	414.3	305.4	347.4	321.8	—

戸建住宅
 集合住宅（管理人無）
 单身向け集合住宅
 住商混在
 全ての住居形態

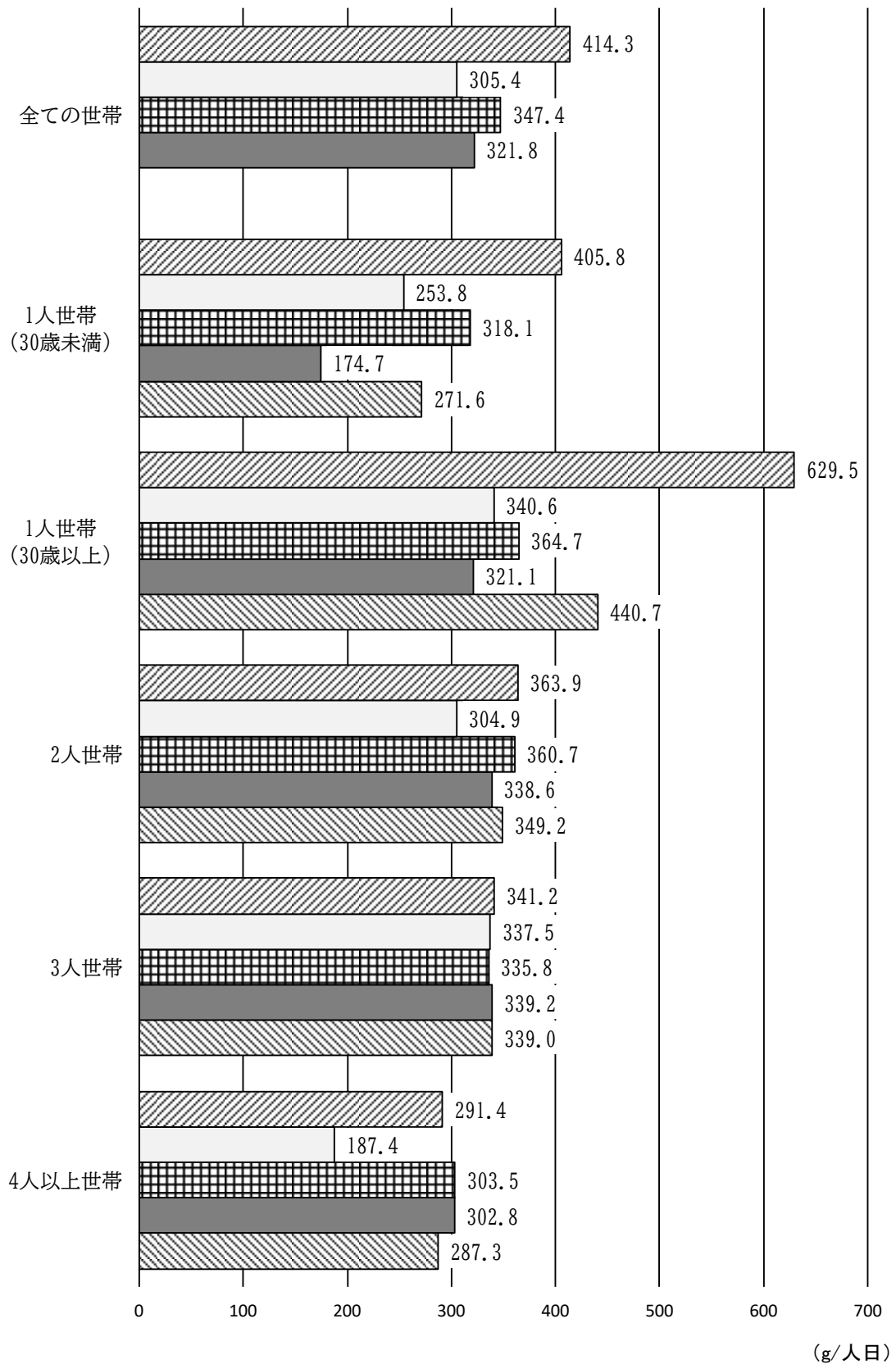


図 2-2-1 住居形態別・世帯人数別の排出原単位

(2) 燃やすごみの排出原単位の推計

調査で得られた世帯人数別の排出原単位を国勢調査に基づく令和2年10月1日現在の世帯人員別の人口割合で加重平均し、燃やすごみの排出原単位を推計した。燃やすごみの排出原単位は、347.0g/人日である。

なお、燃やすごみの排出原単位は、平成26年度の調査では331g/人日であった。

表 2-2-2 燃やすごみの排出原単位の推計

	排出原単位 (g/人日)	属性別人口	
		推計人口(人)	割合
1人世帯・30歳未満	271.6	19,231	6.7%
1人世帯・30歳以上	440.7	63,546	22.2%
2人世帯	349.2	71,898	25.2%
3人世帯	339.0	60,987	21.3%
4人以上世帯	287.3	70,021	24.5%
加重平均	347.0	285,683	100.0%

第3章 事業系燃やすごみ組成分析調査

1 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、事業所から区収集に排出される燃やすごみの組成と分別状況、事業系有料ごみ処理券の貼付状況を把握し、廃棄物施策を検討するための基礎資料を得ることを目的に実施したものである。

(2) 調査対象地区及び日程

本調査は、区で収集している事業系ごみを対象とすることから、事業系ごみが排出されそうな地区として、中目黒駅エリア、学芸大学駅エリア、都立大学駅エリアを選定した。

調査期間は、令和4年6月27日（月）から7月2日（土）までの6日間とした。

表 3-1-1 調査対象地区及び調査日程

対象地区	調査日
中目黒駅エリア（上目黒1丁目）	6月28日（火）
	7月1日（金）
学芸大学駅エリア（鷹番2丁目）	6月27日（月）
	6月30日（木）
都立大学駅エリア（中根1丁目）	6月29日（水）
	7月2日（土）

(3) 調査方法

調査対象地区の集積所から、事業系有料ごみ処理券の貼ってあるものや、明らかに事業系ごみと判断されるものをサンプルとして回収し、表 3-1-2 に示す 8 業種に分けて調査した。

回収したごみは、袋の容量と貼付されている事業系有料ごみ処理券の容量を記録した後、組成分類項目に従い 39 種に分別した。分析したサンプル量は、1,791.23kg である。

表 3-1-2 業種分類

食品小売業	コンビニエンスストア、八百屋、魚屋、肉屋、パン屋、酒屋
その他小売業	衣料品販売店、自転車販売店、薬局、雑貨販売店、書店
飲食・宿泊業	飲食店、ホテル
金融・保険・不動産業	銀行、質屋、貸金業、証券会社、保険業、不動産業
医療・福祉業	医院、歯科診療所、鍼灸マッサージ、老人福祉・介護施設
教育・学習支援業	学校、幼稚園、学習塾、音楽教室、英会話学校
その他サービス業	法律事務所、会計事務所、クリーニング店、理容・美容室、娯楽業、各種団体、宗教法人
その他業種	建設業、製造業、運輸業

(4) 分析場所

目黒区清掃事業所

(5) 組成分類項目

本調査の組成分類項目を表 3-1-3 に示す。

ごみの外袋については、袋回収を実施しているために必然的に使用されるものであることから「外袋」として区分した。

(6) 結果分析

調査結果を基に事業系有料ごみ処理券の貼付割合、組成割合、適正分別割合を算定した。

表 3-1-3 組成分類項目

	大分類	中分類	小分類	具体的な品目
1	資源(古紙)	新聞・折込広告		新聞、新聞に入る広告
2		雑誌・本		パンフレット、カタログ(4P以上)、ノート
3		段ボール		断面が段々になっている
4		コピー用紙・OA用紙		
5		シュレッター紙		
6		その他紙類(リサイクル可)		コピー用紙、パンフレット・チラシ、ポスター・カレンダー、封筒
7	資源(びん・缶・PET)	飲料用びん		
8		飲食用缶		ペットフード、フタを含む
9		ペットボトル		「PET」表示あり、飲料・酒・醤油
10	資源(プラスチック)	弁当ガラ		
11		その他プラスチック製容器包装	レジ袋(中身あり)	ごみの小袋として利用
12			レジ袋(中身なし)	利用されずに出されているレジ袋、未使用
13			発泡トレイ(白)	
14			発泡トレイ(柄)	白以外、色・柄つき
15			その他プラスチック製容器包装	上記以外のプラスチック製容器包装
16	資源(その他)	紙パック		アルミの貼っていないもの 牛乳・ジュースの、山型紙パック(200ml以上)
17		電池		乾電池
18	可燃物	生ごみ	直接廃棄	
19			食べ残し	
20			飲み残し	
21			調理くず等	
22			廃食用油	
23			紙類(リサイクル不可)	ティッシュ、防水加工された紙、レシートなど感熱紙、圧着はがき、アルミコーティングされたもの、ピザや洗剤・線香の箱など汚れや臭いのついた紙、シュレッター屑、写真、カーボン紙、紙製卵パック、果物などの紙製緩衝材、カップ麺やヨーグルトの容器
24		繊維	繊維(リサイクル可)	タオル、シーツ、古着
25	繊維(リサイクル不可)		下着、靴下、ストッキング	
26	木・草類	割箸・竹串、庭木・草、生花、コルク、麻ひも、木製玩具		
27	製品プラスチック	製品プラスチック(プラスチックのみ)		歯ブラシ、おもちゃ、バケツ、ビデオテープ、CDケース、カトラリー、衣類用カバー、ハンガー、食品保存袋、フリーザーバッグ、市販の袋
28		製品プラスチック(複合品)		プラスチックの比率が50%以上
29		製品プラスチック(電池内蔵)		おもちゃ、プラモデル、カーラーで、ほとんどがプラスチックで電池内蔵のもの
30	その他不燃物	ゴム・皮革類		
31		その他可燃		タバコ吸殻、湿布、油を固めたもの、掃除機のごみ、猫砂(紙を使用したもの)、カーペット、ぬいぐるみ、ガーゼ、包帯、衛生用品
32	不燃物	その他金属		飲食以外、塗料・オイル缶、一斗缶より大きい缶、針金ハンガー、なべ・フライパン・やかん、アルミ箔、アルミホイール
33		小型家電製品		
34		その他不燃		陶磁器、かさ・ポットなど複合品、使い捨てカイロ、乾燥剤、薬、猫砂(土を使用したもの)、化粧品・薬のびん、コップ、板ガラス、花瓶、植木鉢、電球
35	危険物・水銀含有物			水銀体温計、蛍光管、充電電池、ボタン電池、スプレー缶等中身あり、ライター(着火可能性あり)
36	収集不適物			園芸土、土砂・灰・石、注射器など針のついたもの
37	外袋	プラスチック袋		
38		レジ袋		
39		その他		紙袋

2 組成割合

(1) 全体

事業系燃やすごみの組成を図 3-2-1 及び表 3-2-1 に示す。

大分類では、資源(古紙)が 16.4%、資源(プラスチック)が 9.4%、資源(びん・缶・PET)が 0.4%、資源(その他)が 0.2%の順で、資源が合計 26.4%である。その他、可燃物が 71.9%、外袋が 1.0%、不燃物が 0.8%の順である。

分別が適正なものは 72.8%、分別が不適正なものは 27.2%である。

可燃物の中分類では、生ごみが最も多く 32.2%、次いで、紙類が 19.7%、その他可燃物が 8.9%などの順である。生ごみの小分類のうち、直接廃棄が 1.3%、食べ残しが 3.6%、飲み残しが 0.1%で、合計 5.0%が食品ロスである。

資源(古紙)の中分類では、その他紙類が最も多く 9.3%、次いで、シュレッダー紙が 2.9%、雑誌・パンフレットが 1.9%などの順である。

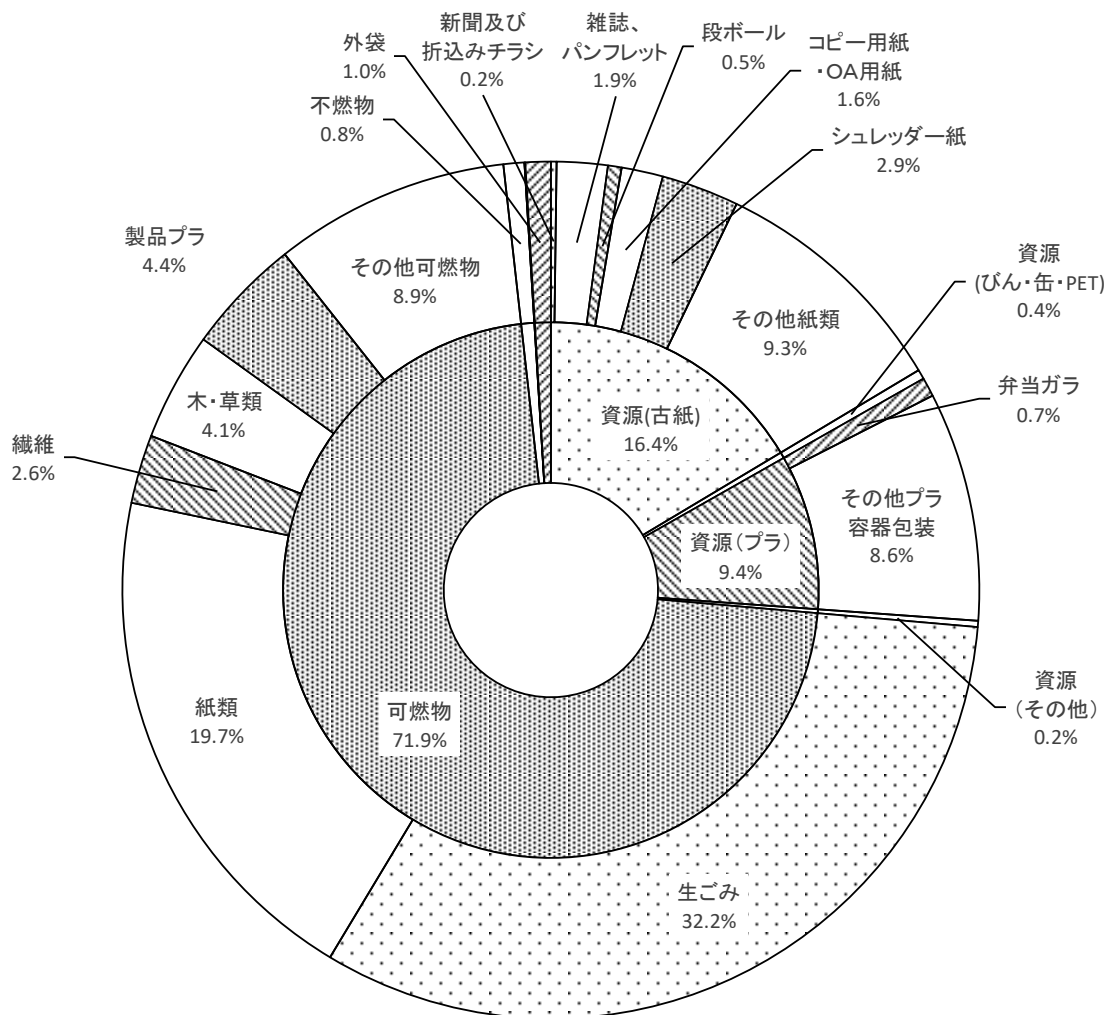


図 3-2-1 事業系燃やすごみの組成分析結果

表 3-2-1 事業系燃やすごみの組成分析結果(詳細)

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合
資源 (古紙)	新聞及び折込みチラシ		3.82	0.2%
	雑誌、パンフレット		34.33	1.9%
	段ボール		9.20	0.5%
	コピー用紙・OA用紙		28.09	1.6%
	シュレッダー紙		52.38	2.9%
	その他紙類		166.36	9.3%
資源 (びん・缶・PET)	飲食料びん		1.34	0.1%
	飲食用缶		0.61	0.0%
	ペットボトル		4.54	0.3%
資源 (プラスチック)	弁当ガラ		12.82	0.7%
	その他プラスチック製容器包装	レジ袋 (中身あり)	8.33	0.5%
		レジ袋 (中身なし)	1.77	0.1%
		発泡トレイ (白)	0.32	0.0%
		発泡トレイ (柄)	0.23	0.0%
		その他プラスチック製容器包装	144.13	8.0%
資源 (その他)	紙バック	3.98	0.2%	
	電池	0.23	0.0%	
可燃物	生ごみ	直接廃棄	23.73	1.3%
		食べ残し	63.82	3.6%
		飲み残し	2.22	0.1%
		調理くず等	409.04	22.8%
		廃食用油	78.69	4.4%
		紙類 (リサイクル不可)	352.01	19.7%
	繊維	繊維 (リサイクル可)	22.88	1.3%
		繊維 (リサイクル不可)	23.48	1.3%
	木・草類	73.24	4.1%	
	製品プラスチック	製品プラスチック (プラスチックのみ)	75.24	4.2%
		製品プラスチック (複合品)	3.34	0.2%
		製品プラスチック (電池内蔵)	0.00	0.0%
	その他可燃物	ゴム・皮革類	39.29	2.2%
その他可燃		120.03	6.7%	
不燃物	その他金属		7.26	0.4%
	小型家電製品		0.79	0.0%
	その他不燃物		6.06	0.3%
危険物・水銀含有物			0.00	0.0%
収集不適物			0.57	0.0%
外袋	プラスチック袋		15.89	0.9%
	レジ袋		0.76	0.0%
	紙袋		0.41	0.0%
合計			1,791.23	100.0%

大分類	重量 (kg)	割合
資源 (古紙)	294.18	16.4%
資源 (びん・缶・PET)	6.49	0.4%
資源 (プラスチック)	167.60	9.4%
資源 (拠点回収)	4.21	0.2%
資源合計	472.48	26.4%
可燃物	1,287.01	71.9%
不燃物	14.11	0.8%
危険物・水銀含有物	0.00	0.0%
収集不適物	0.57	0.0%
外袋	17.06	1.0%

大分類	重量 (kg)	割合
分別が適正なもの	1,304.07	72.8%
分別が不適正なもの	487.16	27.2%

(2) 業種別

事業系燃やすごみの業種別の組成を表 3-2-2 に示す。

分別が適正なものの割合は、飲食・宿泊業が最も高く 90.0%、次いで、食品小売業が 79.3%、医療・福祉業が 66.3%、その他サービス業が 59.0%、その他小売業が 56.8%、その他業種が 54.5%、教育・学習支援業が 51.3%、金融・保険・不動産業が 43.2%の順である。

表 3-2-2 事業系燃やすごみの業種別の組成分析結果(資源中分類)

		食品 小売業	その他 小売業	飲食・ 宿泊業	金融・ 保険・ 不動産 業	医療・ 福祉業	教育・ 学習支 援業	その他 サービ ス業	その他 業種	合計
資源	新聞及び折込みチラシ	0.0%	0.3%	0.1%	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%	0.7%	0.2%
	雑誌、パンフレット	0.4%	4.7%	0.2%	5.0%	1.7%	9.6%	2.9%	2.7%	1.9%
	段ボール	0.7%	0.2%	0.2%	3.9%	0.9%	0.2%	0.4%	0.3%	0.5%
	コピー用紙・OA用紙	0.1%	2.0%	0.0%	8.0%	1.9%	8.7%	1.0%	6.0%	1.6%
	シュレッダー紙	0.0%	2.9%	0.0%	4.6%	1.5%	0.0%	6.7%	17.8%	2.9%
	その他紙類	11.2%	23.4%	1.8%	23.7%	15.1%	15.8%	10.6%	10.2%	9.3%
	びん・缶・PET	0.0%	0.4%	0.3%	1.0%	0.3%	0.0%	0.4%	0.1%	0.4%
	弁当ガラ	0.0%	0.8%	0.1%	1.8%	0.8%	2.6%	1.6%	1.6%	0.7%
	その他プラスチック製容器包装	7.7%	6.7%	6.4%	8.4%	10.5%	11.4%	15.5%	5.4%	8.6%
	資源(その他)	0.4%	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	0.0%	0.3%	0.3%	0.2%
	資源合計	20.5%	41.7%	9.3%	56.7%	33.3%	48.5%	39.7%	45.1%	26.4%
可燃物		78.4%	56.0%	89.0%	42.3%	65.3%	48.6%	58.1%	53.9%	71.9%
不燃物		0.1%	1.6%	0.7%	0.1%	0.2%	0.2%	1.3%	0.3%	0.8%
危険物・銀含有物		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
収集不適物		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
外袋		0.9%	0.8%	1.0%	0.9%	0.9%	2.7%	0.9%	0.7%	1.0%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

分別が適正なもの	79.3%	56.8%	90.0%	43.2%	66.3%	51.3%	59.0%	54.5%	72.8%
分別が不適正なもの	20.7%	43.2%	10.0%	56.8%	33.7%	48.7%	41.0%	45.5%	27.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(3) 対象地区別

事業系燃やすごみの対象地区別の組成を表 3-2-3 に示す。

分別が適正なものの割合は、学芸大学駅エリアが最も高く 73.9%、次いで、都立大学駅エリアが 73.5%、中目黒駅エリアが 70.3%の順である。

表 3-2-3 事業系燃やすごみの対象地区別の組成分析結果(資源中分類)

		中目黒駅 エリア	学芸大学駅 エリア	都立大学駅 エリア	合計
資源	新聞及び折込みチラシ	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%
	雑誌、パンフレット	0.9%	1.5%	3.0%	1.9%
	段ボール	0.4%	0.4%	0.7%	0.5%
	コピー用紙・OA用紙	2.0%	0.7%	2.2%	1.6%
	シュレッダー紙	5.5%	1.9%	2.1%	2.9%
	その他紙類	9.0%	10.8%	7.9%	9.3%
	びん・缶・PET	0.2%	0.3%	0.6%	0.4%
	弁当ガラ	1.0%	0.4%	0.8%	0.7%
	その他プラスチック製容器包装	9.3%	8.8%	8.0%	8.6%
	資源(その他)	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%
	資源合計	28.9%	25.3%	25.7%	26.4%
可燃物		69.0%	73.1%	72.7%	71.9%
不燃物		0.7%	0.8%	0.9%	0.8%
危険物・銀含有物		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
収集不適物		0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
外袋		1.3%	0.8%	0.8%	1.0%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
分別が適正なもの		70.3%	73.9%	73.5%	72.8%
分別が不適正なもの		29.7%	26.1%	26.5%	27.2%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3 事業系有料ごみ処理券の貼付状況

(1) 貼付状況

事業系有料ごみ処理券の貼付状況を表 3-3-1 及び表 3-3-2 に示す。排出袋に見合った事業系有料ごみ処理券を貼付している適正貼付が 75.7%、不足した事業系有料ごみ処理券を貼付している不足貼付が 11.2%、事業系有料ごみ処理券を貼付していないのが 13.1%である。

業種別では、事業系有料ごみ処理券を貼付していない割合は、飲食・宿泊業が最も高く 28.6%、次いで、教育・学習支援業が 15.4%、その他サービス業が 12.6%などの順である。

対象地区別では、事業系有料ごみ処理券を貼付していない割合は、中目黒駅エリアが最も高く 21.6%、次いで、学芸大学駅エリア 9.8%、都立大学駅エリア 8.1%の順である。

表 3-3-1 業種別の事業系有料ごみ処理券貼付状況

業種	項目	適正貼付	不足貼付	処理券なし	合計
食品小売業	排出袋数	3	0	0	3
	割合	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他小売業	排出袋数	38	5	5	48
	割合	79.2%	10.4%	10.4%	100.0%
飲食・宿泊業	排出袋数	63	7	28	98
	割合	64.3%	7.1%	28.6%	100.0%
金融・保険・不動産業	排出袋数	35	2	0	37
	割合	94.6%	5.4%	0.0%	100.0%
医療・福祉業	排出袋数	58	5	3	66
	割合	87.9%	7.6%	4.5%	100.0%
教育・学習支援業	排出袋数	7	4	2	13
	割合	53.8%	30.8%	15.4%	100.0%
その他サービス業	排出袋数	91	20	16	127
	割合	71.7%	15.7%	12.6%	100.0%
その他業種	排出袋数	22	4	1	27
	割合	81.5%	14.8%	3.7%	100.0%
合計	排出袋数	317	47	55	419
	割合	75.7%	11.2%	13.1%	100.0%

表 3-3-2 対象地区別の事業系有料ごみ処理券貼付状況

調査対象地区	項目	適正貼付	不足貼付	処理券なし	合計
中目黒駅エリア	排出袋数	96	13	30	139
	割合	69.1%	9.4%	21.6%	100.0%
学芸大学駅エリア	排出袋数	110	9	13	132
	割合	83.3%	6.8%	9.8%	100.0%
都立大学駅エリア	排出袋数	111	25	12	148
	割合	75.0%	16.9%	8.1%	100.0%
合計	排出袋数	317	47	55	419
	割合	75.7%	11.2%	13.1%	100.0%

(2) 容積貼付率

容積貼付率とは、事業系有料ごみ処理券の総容積を排出袋の総容積で除したものである。容積貼付率を表3-3-3及び表3-3-4に示す。全体の容積貼付率は81.5%である。

業種別では、飲食・宿泊業が最も低く70.6%、次いで、教育・学習支援業が71.2%、その他サービス業が78.1%などの順である。

対象地区別では、中目黒駅エリアが最も低く75.9%、次いで、都立大学駅エリアが81.6%、学芸大学駅エリアが87.5%の順である。

表3-3-3 業種別の容積貼付率

業種	項目	適正貼付	不足貼付	処理券なし	合計
食品小売業	排出袋容積	135	—	—	135
	処理券容積	135	—	—	135
	容積貼付率	100.0%	—	—	100.0%
その他小売業	排出袋容積	1,810	340	210	2,360
	処理券容積	1,810	200	0	2,010
	容積貼付率	100.0%	58.8%	0.0%	85.2%
飲食・宿泊業	排出袋容積	2,820	250	1,080	4,150
	処理券容積	2,820	110	0	2,930
	容積貼付率	100.0%	44.0%	0.0%	70.6%
金融・保険・不動産業	排出袋容積	1,620	115	—	1,735
	処理券容積	1,620	75	—	1,695
	容積貼付率	100.0%	65.2%	—	97.7%
医療・福祉業	排出袋容積	2,685	320	110	3,115
	処理券容積	2,685	170	0	2,855
	容積貼付率	100.0%	53.1%	0.0%	91.7%
教育・学習支援業	排出袋容積	290	280	90	660
	処理券容積	290	180	0	470
	容積貼付率	100.0%	64.3%	0.0%	71.2%
その他サービス業	排出袋容積	4,395	1,395	785	6,575
	処理券容積	4,395	740	0	5,135
	容積貼付率	100.0%	53.0%	0.0%	78.1%
その他業種	排出袋容積	940	230	45	1,215
	処理券容積	940	85	0	1,025
	容積貼付率	100.0%	37.0%	0.0%	84.4%
合計	排出袋容積	14,695	2,930	2,320	19,945
	処理券容積	14,695	1,560	0	16,255
	容積貼付率	100.0%	53.2%	0.0%	81.5%

表 3-3-4 対象地区別の容積貼付率

調査対象地区	項目	適正貼付	不足貼付	処理券なし	合計
中目黒駅エリア	排出袋容積	4,595	685	1,165	6,445
	処理券容積	4,595	295	0	4,890
	容積貼付率	100.0%	43.1%	0.0%	75.9%
学芸大学駅エリア	排出袋容積	4,955	410	535	5,900
	処理券容積	4,955	210	0	5,165
	容積貼付率	100.0%	51.2%	0.0%	87.5%
都立大学駅エリア	排出袋容積	5,145	1,835	620	7,600
	処理券容積	5,145	1,055	0	6,200
	容積貼付率	100.0%	57.5%	0.0%	81.6%
合計	排出袋容積	14,695	2,930	2,320	19,945
	処理券容積	14,695	1,560	0	16,255
	容積貼付率	100.0%	53.2%	0.0%	81.5%

(3) 45 リットルあたりの重量

排出袋の総容積を分析したごみの総重量で除して 45 リットルあたりに換算した 45 リットルあたりの重量を表 3-3-5 及び表 3-3-6 に示す。

業種別では、飲食・宿泊業が 9.32kg で最も重く、次いで、食品小売業が 5.44kg、医療・福祉業が 3.87kg などの順である。

対象地区別では、中目黒駅エリアが最も重く 5.01kg、次いで、都立大学駅エリアが 4.28kg、学芸大学駅エリアが 4.15kg の順である。

表 3-3-5 業種別の 45 リットルあたりの重量

業種	排出袋容積 (㍓)	重量 (kg)	45㍓あたり重量 (kg/45㍓)
食品 <small>☒</small> 売業	135	16.31	5.44
その他小売業	2,360	200.87	3.83
飲食・宿泊業	4,150	859.07	9.32
金融・保険・不動産業	1,735	99.76	2.59
医療・福祉業	3,115	268.18	3.87
教育・学習支援業	660	26.34	1.80
その他サービス業	6,575	411.66	2.82
その他業種	1,215	102.10	3.78
合計	19,945	1,984.29	4.48

表 3-3-6 対象地区別の 45 リットルあたりの重量

調査対象地区	排出袋容積 (㍓)	重量 (kg)	45㍓あたり重量 (kg/45㍓)
中目黒駅エリア	6,445	717.90	5.01
学芸大学駅エリア	5,900	543.90	4.15
都立大学駅エリア	7,600	722.49	4.28
合計	19,945	1,984.29	4.48